

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、平素より何かと大変お世話になっておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、里庄町では、「未来を拓く人づくりと文化活動の展開」を基本目標として、教育行政の推進を図っています。里庄町の次代を担う人づくりを推進するためには、学校、家庭、地域が一体となって取り組むことが大切です。また、大人も子どもも夢や目標に向かって、いきいきと生活できるように、地域に根ざした、文化、芸術、スポーツ等を生涯にわたって学び、楽しむことができる環境づくりを進めてまいります。

学校や幼稚園においては、落ち着いた集団生活の中で、一人ひとりの子どもたちが自分のよさを伸ばしたり、友達のよさに気づいたりできるように指導することが大事であると考えています。そのためには、何よりも子どもたちの頑張りをきちんと見ることができ、確かに認めることのできる指導者でなくてはならないと考えています。教職員の活躍と子どもたちの健やかな成長を願い、町民の皆様方の今後とものご支援・ご協力をお願い申し上げ、ごあいさついたします。

里庄町教育目標（平成30年度）

「未来を拓く人づくりと文化活動の展開」

1 生きる力を育む学校教育の推進

- ・学校教育「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

認めること、落ち着いた集団の確立、主体性の育成、授業改善

学校給食、基礎・基本の徹底、あいさつ

言語活動の充実による表現力の育成

（論理的に書く力、コミュニケーション力）

- ・家庭教育（認めること、基本的な生活習慣、しつけ、あいさつ、家庭学習）

- ・地域の人々との連携

2 心豊かで生きがいを育む生涯学習の推進

- ・地域社会の教育力の向上、地域人材の活用

- ・町民との協働によるまちづくり活動の推進

3 やすらぎと潤いを感じる芸術・文化の振興

- ・先人の偉業に学び、地域に受け継がれてきた伝統・文化の伝承

- ・町民の主体的な文化活動と世代を超えての人々の交流

4 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の振興

- ・スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ・スポーツ指導者の養成

5 異なる国や地域・人との交流活動の推進

- ・幼稚園・小・中学校における、国際理解教育・英語活動の推進

- ・国際交流事業の推進を通じて、世界の人々との友好親善の精神を育成



平成30年度 里庄町教育委員会 学校教育の取り組みについて

里庄町教育委員会では、町内の園児・児童・生徒が落ちついた環境の中で、自分のよいところをもっと伸ばしていけるように、平成30年度は、次のような取り組みを行います。

1 「卒業時期の育てたい子どもの姿」を明確にした取り組み

幼児期（保幼）、学童期（小）、思春期（中）のそれぞれの卒業時期の「育てたい子どもの姿」を踏まえ、里庄町全体の「育てたい子どもの姿」について教職員が共通理解を図り、保育や教育を進めます。今年度は、この「育てたい子どもの姿」を設定します。

2 「保幼小・接続カリキュラム」の取り組み

幼児期は、子どもたちが健やかに育ち、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期です。生活や遊びの中での直接的・間接的な体験を通して、よりよく社会で生きていくための基礎となる力を獲得していく時期になります。また、児童期は、子どもたち一人ひとりがもっている能力を伸ばすとともに、社会において自立的に生きるための基礎を培い、社会の一員としての基礎的な資質を養う時期です。この2つの時期を円滑に接続し、子どもたちのよりよい成長を目指します。

3 「里庄町明るい学校づくり」の取り組み

学校が全ての児童生徒にとって、より明るく楽しい場になるような居場所づくりを行うと共に、友達同士や教師との良好な関係づくりを進めます。それにより、良好な人間関係をつくる力や、社会に進んで参画する力を伸ばすことを目指します。中学校卒業までを見通して取り組みます。

指導主事 天野 正彦

スマートフォン・ゲームの適切な利用についてのお願い

子どもたちが、スマートフォンやゲームを長時間する中で、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースが、大きな問題となっています。また、健康面の心配や学習時間の減少も指摘されています。里庄町では、統一ルールとして、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。

子どもを守るのは、社会の大人全体の責任です。さらに、子どもの一番身近にいる大人は、保護者の皆様です。保護者の責務として、家庭内のルール作りをお願いします。ご家庭で、お子様としっかり話し合って、子どもも納得するルール作りを進めてください。

※各家庭での徹底をお願いいたします。

指導主事 天野 正彦

教育相談日のお知らせ

子育てで悩んでいることがありましたら、お気軽にご相談ください。

日 時 毎週 月曜日・火曜日・水曜日（原則）

午前9:00～12:00 午後1:00～5:00

場 所 「里庄むつみ会館」（里庄町里見1004）

相談を希望される方は教育委員会事務局（0865-64-7212）まで
（ご希望日時が重なった場合、調整させていただきます。）

担当者 教育相談員 栗尾康子



自己肯定感を高める集団づくりの取り組み

里庄中学校長 田原 直樹



JRC 登録式

平成30年度は、1年生98名、2年生93名、3年生93名の計284名、11学級でスタートしています。里庄中学校は、創立以来70年に渡ってJRC（青少年赤十字）に加盟し、その理念を取り入れた教育を推進しています。「2分前行動ができる」「はきものをそろえることができる」「あいさつができる」などの素晴らしい伝統をもつ学校です。今年度も、昨年度に引き続いて、生徒の自己肯定感を高めることを目指して、「授業づくり」と「集団づくり」を研究の2本柱とし、学校教育目標である「心豊かに学ぶ生徒の育成」を目指していきます。

【魅力ある授業づくり】

- ・どの生徒も授業の中で、「分かった」「できた」を体感できる授業を目指します。



授業研究

- ・パソコンや実物投影機等のICT（情報機器）を効果的に使うことで、生徒の興味・関心を高めていきます。
- ・授業の中に、アクティブラーニングの手法を積極的に取り入れ、自ら進んで、友達と協力して学ぶ活動を推進します。

【自己肯定感を高める集団づくり】

- ・どの生徒も学校生活の中で、お互いを認め合い、高め合える集団を目指します。



- ・学級活動や総合的な学習等の時間を利用して、SEL（社会性と情動の学習）の手法を取り入れた学習を進めていきます。



SEL の授業

また、今年度生徒会は、2年前から取り組んでいる「里中3つの誇りプロジェクト」をさらに進化させ、「ワンダフル里中生 ～4つの誇り～」をスローガンとしました。

- ① あいさつができる
- ② 美化（掃除）がきちんとできる
- ③ 2分前着席（時間が守れる）
- ④ 正しい判断ができる

これからは、この4つの重点目標を全校生徒で実践し、新たな伝説を築いていきます。

さらに、中学生も里庄町民の一員として、町の行事等へも貢献できるようになりたいと考えています。昨年度の2月には、里庄町マラソン大会を盛り上げる取組として、中学生ボランティアを募り、マラソンコースの清掃活動を行いました。今年度も厚生体育大会をはじめ、様々な行事にも地域の皆様のご支援をいただきながら積極的に参加していきたいと考えています。

心豊かでたくましい里見っ子の育成のために

里庄東小学校・東幼稚園長 今井 豊

平成30年度の里庄東小学校は、287名、14学級でスタートしました。子どもたちは、新しいクラスにも慣れ、運動会では、友達と力を合わせて、息の合った演技をすることができました。本年度も、六年生が手本となって、「めざす児童像」の「進んで学ぶ子」「元気な子」「助け合う子」の3つを目指します。具体的には、次の通りです。



運動会の大玉送り

(1)進んで学ぶ子

- 表現力の向上（聞く・話す・書く活動で）
- 基礎・基本の定着（振り返り・反復練習で）
- 思考の深まりと充実感（工夫・適切な支援で）
- 家庭学習の充実（学校・家庭の連携で）

(2)元気な子

- 進んで運動
- 生活習慣づくり
- 体力の向上への意欲
- 健康増進への意欲

(3)助け合う子

- あいさつ
- 気持ちを考える
- よさを認める
- 人を大切にする
- 温かい言動

東幼稚園は、本年度くま組・りす組合わせて49名です。幼稚園においても、(1)元気なこども(2)がんばるこども(3)やさしいこども(4)かんがえるこどもをめざして、頑張りたいと思います。小学校の学びの土台となる関心や意欲を、遊びを中心とした活動の中で育てていきます。

本年度も、町民の皆様の温かいご支援と見守りをいただきながら、里見の子をよりよく育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

里西っ子の「生きる力」を育てる

里庄西小学校・西幼稚園長 松原 修

西小学校は全校児童350人でスタートしました。「切磋琢磨」の校訓と、教育目標「里西っ子の生きる力を育てる」のもと、「よく考え進んで学ぶ」「仲良く助け合う」「明るく元気」、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成を目指しています。生活規律や学習規律を整えながら落ち着いた学習環境を保持し、具体的には次のことを重点に、PTA、地域、町内小中学校と連携しながら取り組みを進めていきます。

(1)「よく考えて進んで学ぶ子ども」を育てるために

- 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じる魅力ある授業づくり
- 基礎・基本の徹底
- 伝え合う活動の充実で表現力を育成
- 学習規律の徹底
- 意欲的に進める家庭学習の充実

(2)「仲良く助け合う子ども」を育てるために

- 人・時間・協働を大切にする生徒指導等
- 道徳指導の充実
- 認めて伸ばし自己肯定感を育む学校行事等

(3)「明るく元気な子ども」を育てるために

- 体力づくりの推進と学校安全の強化
- 基本的生活習慣の定着
- 食堂給食の充実と食育の推進



意欲的に学ぶこどもたち



運動会の幼稚園演技

西幼稚園の園児数は46名です。小学校と一貫した教育目標を設定し、遊びを通して「意欲をもってがんばる子」「思いやりのある子」「元気な子」を育てます。また、保幼小接続プログラムに沿って小学校への円滑で発展的な接続を図っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。